

(第1回変更) 契約変更の内容

| | |
|----------|--|
| 契約変更年月日 | 令和 7年 12月 23日 |
| 契約業者名 | 阪神高速技研株式会社 |
| 契約業者の住所 | 大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23号 |
| 業務の名称 | 会計システム企画検討業務（2025年度） |
| 業務場所 | 阪神高速道路株式会社が指定する場所 |
| 業務種別 | (その他) |
| 業務概要 | 次期会計システムの導入に向けて、財務会計、契約管理、予算管理、資産管理及びその他会計業務 |
| 業務期間(自) | 令和 7年 4月 1日 |
| 業務期間(至) | 令和 8年 7月 31日 |
| 契約金額 | 286,297,000 円 |
| 変更金額 | 82,258,000 円 増 |
| 変更後の契約金額 | 368,555,000 円 |
| 変更理由 | 別紙のとおり |

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

会計システム企画検討業務（2025年度）第1回変更

1. 業務計画書において、業務が進捗した後で契約変更手続きを行い、下記業務を追加することとしている。今般、業務が進捗したことから、下記業務の追加を行う。

- ・システム仕様の設計（契約機能）
- ・システム仕様の設計（予算機能）
- ・システム要件一覧（資産機能一覧）の作成
- ・システム仕様の設計（資産機能）
- ・システム要件一覧（新リース会計基準機能一覧）の作成
- ・システム仕様の設計（新リース会計基準）
- ・システム要件一覧（道路資産帰属計画機能一覧）の作成
- ・システム仕様の設計（道路資産帰属計画）
- ・システムテスト計画の策定

2. 「次期会計システムの要件整理」「次期会計システムの要件定義」において、当初想定していなかった以下の理由により、作業工数の追加を行う。

- ・予算機能の要件整理において、次期会計システムに採用する予算科目及び勘定科目の新たな体系の検討を実施する必要が生じた。
- ・資産機能の要件整理において、資産機能に採用するパッケージソフトの比較検討を実施する必要が生じた。
- ・部分最適でなく全体最適を図りシステム全体の品質を担保することを目的として、各機能の要件定義で生成される成果について、第三者によるドキュメントレビューを実施することとした。

3. 「パッケージ導入に向けた計画管理」において、以下の理由により、作業工数の削減を行う。

- ・現在の契約額に含まれている外部設計工程について、別途発注する契約にて実施することとし、本契約では実施しないこととした。

4. 契約相手方である阪神高速技研株式会社において、「阪神高速道路（株）からの受託業務に係る見積書作成要領（2025年度）」が改定されたことから、経費率の変更を行う。

5. 上記1で追加となる業務を着実に実施するため、契約期間を以下の通り変更する。

<現在>2025年4月1日～2026年3月31日

<変更後>2025年4月1日～2026年7月31日

以上